

十四、再読文字 「当」 当にべし 「当然べきだ」

\*再読文字の読み方・書き方

- ① 返り点がついているが、先ず、(1) (側)の読み方で読む。書き下し文は(2) (側)を使って書く。
- ② 返り点に従って同じ漢字に返り、(3) (側)の読み方で読む。書き下し文は(4) (側)で書く。

【例】

① まさニ  
 ② ベシ  
 当………。↓ 当に……べし。  
 ①  
 ②

ガントス

ニ シ ニ トイフ レニ  
 当ニ 枕レ 石 漱ニレ 流  
 キニ

(1) 書き下し文

(2) 現代語訳

◆◆ 故事成語(その他) \*読み・意味を調べよう!

(1) 螢雪の功 螢の光窓の雪

【意味】

(2) 完璧

(3) 蛇足

(4) 水魚の交わり

(5) 背水の陣

(6) 大器晩成

(7) 五十歩百歩

(8) 温故知新

(9) 切磋琢磨

(10) 矛盾

(11) 破天荒

(12) 逆鱗に触れる